

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
1	中学・高校・大学ビブリオバトル全国大会	2	全国の中学生、高校生、大学生を対象にした書評合戦形式のコンテストで、聴衆が最も読んでみたいと思った「チャンプ本」を決める。各大会は読売新聞社が運営主体となり、文部科学省や各都道府県教育委員会などの後援を得て実施している。大会の様子は読売新聞本紙や、動画撮影・編集してインターネットなどで広く公開するほか、大会で紹介された本をまとめた冊子を作成して全国で無償頒布し、良書の魅力を広く伝えるとともに、著作者の創作意欲の向上につなげることで、著作物の普及・振興および活字文化の振興に寄与する。	10,000,000	10,000,000	—
	株式会社読売新聞東京本社					
2	読書教養講座・活字文化公開講座	2	全国各地の大学を会場として、一般市民や学生を対象に読書の魅力を伝える無料公開講座を開催する。著名な作家や学者などを招いて自身の創作活動や読書の楽しみ方などを語ってもらい、パネルディスカッションや参加者との対話を通じて活字文化の振興を後押しする。読売新聞社が2005年に始め、講師を務めた作家からは延べ150人を超えている。講座の様子は読売新聞紙面で詳報するほか、撮影・編集した動画をインターネットで広く無料公開し、読書を通じた著作物の振興・普及に寄与している。	3,200,000	3,200,000	—
	株式会社読売新聞東京本社					
3	第34回新人シナリオコンクール	2	昭和25年創設の日本最初のシナリオコンクール「新人映画シナリオコンクール」と昭和37年創設の「新人テレビシナリオコンクール」を平成4年に統合し、優秀な新人脚本家の発掘と育成を目的として運営し、数多くのプロ作家を輩出してきた。また映像作品の根幹を成す脚本を執筆する脚本家を発掘・育成することで映像文化全体の発展に寄与し、著作物の振興によって文化芸術の振興や普及を行うことも目的とする。	3,464,000	1,536,000	1,928,000
	協同組合日本シナリオ作家協会					
4	第5回 SOLASIDO「詩のあん唱」コンクール	1、2	全国の小学生に、お気に入りの詩を1編、暗唱している動画を募集する。個人でも、グループや団体でも応募できる。朝日小学生新聞、当会のWebサイト、ポスターなどで呼びかける。公式ホームページ内の応募フォームに登録し、スマートフォン、デジタルカメラ、ビデオカメラで撮影した動画を180秒までに編集してアップロードする。	4,600,000	4,600,000	—
	公益社団法人全国学校図書館協議会					
5	2024年第30回日本管楽合奏コンテスト	2	本コンテストは、管打楽器及び吹奏楽の研究・調査・啓発により音楽文化の向上を図り、小・中・高の音楽教育の充実・発展に寄与するとともに、合奏活動を通じて著作権等への理解を深めることを目的に、全国大会では毎年約10,000名の参加を得て実施している。小学生部門に加え中・高校生は編成規模に応じて部門を設け、各部門ごとに最優秀賞・優秀賞を選定し、各部門の最高位である最優秀グランプリ賞受賞団体には文部科学大臣賞が授与される。	5,000,000	5,000,000	—
	公益財団法人日本音楽教育文化振興会					
6	2025年第27回日本ジュニア管打楽器コンクール	2	将来の我が国における管打楽器演奏の発展に貢献する人材の育成や教育現場における管打楽器教育の啓発・普及を図り、著作権等に対する理解を深めることを目的に、毎年約3,000名の全国の小学生・中学生・高校生が参加して実施される音楽コンクールである。小・中・高の各コースに、ソロ部門（12種）とアンサンブル部門（3種）があり、ソロ部門の最も優れた演奏者には文部科学大臣賞（小・中・高に各1枚）が授与される。	3,000,000	3,000,000	—
	公益財団法人日本音楽教育文化振興会					
7	第14回えひめこども新聞グランプリ	2	県内の小学校、特別支援学校小学部の全児童を対象とした新聞コンクール。A2サイズの応募台紙に、各児童が自由にテーマを考え、取材し、手書きのオリジナル新聞を制作する。応募は各学校から市町の教育委員会経由。審査委員は小中学校長らで構成。地区審査と最終審査を経て、グランプリ（最優秀賞）などを決定する。入選発表は新聞紙上にて。表彰式や県内3地区での作品展を開催し、新聞社HPでも入選者作品を公開。	1,750,000	1,750,000	—
	株式会社愛媛新聞社					
8	第77回中部日本高等学校演劇大会	2	高校生の演劇活動の支援と普及のため1948年に始まった高校生の演劇大会。中部6県（愛知、三重、岐阜、福井、富山、石川）で行われる各県大会の上位校を対象としており、本大会の最優秀賞「文部科学大臣賞」を受賞した高校は全国大会に出場することが出来る。大会最終日には、演劇における多様な表現方法を学ぶための研修会も行われる。	1,640,000	1,640,000	—
	株式会社中日新聞社					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
9	芸術家のセーフティネットの構築に係る調査研究	2	2022年度より弊法人は「芸術家の社会保障等に関する研究会」を立ち上げ、文化政策、労働法及び社会保障法の専門家による、既存の公的な社会保障制度等を活用した芸術家のセーフティネットのあり方について検討している。本事業では、2023年度までの研究まとめを踏まえ、実演芸術、美術、映画、文芸など幅広いジャンルの芸術家等のためのセーフティネットの具体案の提案と、必要性についての理解促進、普及啓発を目指す。	24,252,660	14,494,130	9,758,530
	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会					
10	第40回かながわ音楽コンクール	2	「技巧より感性」を合言葉に、神奈川県内における音楽教育の向上・優れた音楽的才能の発掘・音楽の普及を目的として1985（昭和60）年に創設された。 「かなコン」の愛称で親しまれ、ユースピアノ、ヴァイオリン、ピアノ、フルート、声楽の5部門に全国各地からこれまで述べ50,000人が出場。高名な指導者に師事する出場者が非常に多い“音楽の激戦区”といえる神奈川のコンクールは、全国的にみても水準の高いコンクールとして定評がある。	2,000,000	2,000,000	-
	株式会社神奈川新聞社					
11	2024年第20回本屋大賞	2	全国の書店員が年に一度「この本は絶対に多くの人に読んで欲しい」と思った本を投票し、本屋大賞として発表。人々の読書活動に寄与し、多くの著作者や著作物を知ってもらうきっかけになることを狙い、幅広く出版業の発展に寄与する。	4,700,000	4,700,000	-
	特定非営利活動法人本屋大賞実行委員会					
12	「著作権情報センター資料室の蔵書の充実、利用者サービスの拡充」事業	1	誰でも利用できる施設として一般公開している著作権情報センター資料室に関して、図書選定委員会での検討を経て、新たに発行された国内外の著作権関連図書資料の蔵書の充実を図り、利用者サービスとして2022年12月かた開始した文献複写サービスを継続する。 また、蔵書の増加を受けて蔵書点検を行い、図書資料を整理して、利用者がより利用しやすいように配架調整を行う。	7,618,000	7,618,000	-
	公益社団法人著作権情報センター					
13	「著作権論文の募集・顕彰・論文集の発行」事業	1	昨年度、応募者から提出された著作権・著作隣接権に関する論文の中から優秀な論文を顕彰するとともに、論文集の刊行及び配布を行うことにより、次世代を担う著作権法、著作権制度等の研究者等の研究奨励及び育成を図り、その適切な発展を期することを目的とする事業である。	6,841,170	6,841,170	-
	公益社団法人著作権情報センター					
14	学校へのアウトリーチによる著作権制度等の普及啓発を図る事業	1	関東甲信越地域の小中高等学校を対象に、著作権の保護対象となっている楽曲をプログラムしたアウトリーチを開催して、教育機関向けに著作権・著作隣接権制度の普及啓発を図る。解説に室内アンサンブルのLIVE演奏を加えることにより、児童生徒、教育従事者の関心と理解度を一層高め、記憶の定着を図る。	9,988,660	9,988,660	-
	公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団					
15	バリアフリー図書の普及と活用のための人材育成事業	2	本事業では、予算制約のある学校図書館などにバリアフリー図書を貸し出し、展示を通じて司書や一般の人々に理解を促し、バリアフリー図書の普及を図ります。貸し出しだけでなく、支援を必要とする人々に適切に届けるための基礎知識など読書バリアフリーに関して体系的に学ぶことができる「読書バリアフリーサポーター講座（仮）」や教材開発も行います。全国的なニーズに応じ、現地開催やオンデマンド配信など柔軟な手法で展開します。	13,600,000	13,600,000	-
	公益財団法人文字・活字文化推進機構					
16	教育現場に直結する『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版の継続的構築	2	2022年5月にリリースされたオンライン版『日本近代文学大事典』を補訂し、未掲載のデータ、新規項目を増補し、一年ごとに改訂していく。特に、第1次リリースで実現できなかった、文学者の肖像写真・原稿、図書などの文献の写真は、教育現場で重要な意味を持つと思われるので、積極的に増やしていく。これらによって近・現代文学に関する、学術的にもっとも信頼性の高い、総合的なデータベース事典を目指したい。	21,550,000	10,750,000	10,800,000
	公益財団法人 日本近代文学館					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額	2024年度分 助成額（円）	2025年度分 助成額（円）
	申請者名			（円）		
17	新聞を活用した教育事業	2	新聞閲読から得られた感想、意見などが作文された新聞感想文コンクールの開催を軸に、作品制作に役立つ新聞記事ワークシートを綴ったノートの配布や、新聞をはじめとした活字媒体の有用性を訴求する学識経験者などの講演会を開催する。	2,500,000	2,500,000	—
	福島民友新聞株式会社					
18	日本出版美術家連盟クロッキー会	2	美術の基礎となる人体デッサンの機会を創出し、美術家の創作助成、人材の育成を行う。職業画家、イラストレーター、アニメーターなどに安価（金曜500円・土曜1000円）に技術研鑽の場を提供するクロッキー会（デッサン会）。著作物の創作の振興のため2015年より継続している事業。	1,600,000	800,000	800,000
	一般社団法人日本出版美術家連盟					
19	2024年日本出版美術家連盟展・物故会員展（JPAL展）（仮称）	2	日本出版美術家連盟会員の作品展示。（会場1：ギャラリー5610）と物故会員濱野彰親、小松崎茂、加藤敏郎の展示。（会場2：弥生美術館）。挿絵画家の作品、挿絵文化の歴史紹介、著作権の啓蒙展示を実施。	1,750,000	1,750,000	—
	一般社団法人日本出版美術家連盟					
20	「図工・美術授業にカメラ」	2	全国の小・中学校を対象として、図工・美術授業にカメラを取り入れた実践授業を実施。その成果発表の場として、「全国学校図工・美術写真公募展」を開催。児童・生徒が学校の教育活動で造形表現した作品を撮影し、メッセージを添えて応募。入賞・入選作品は当協会のホームページ、図録付き教則本「始めよう、カメラの授業!」に掲載。受賞者には賞状を授与する。	8,773,947	8,773,947	—
	公益社団法人日本広告写真家協会					
21	第34回兵庫県学生ピアノコンクール	2	1991年より34年続いている県内最大のピアノコンクールで、ピアノ愛好者には「県コン」の愛称で親しまれています。毎年約1,000人の参加があり、これまでに延べ30,000人以上の学生が演奏し、音楽に携わる人材育成の場としても定着しています。プロのピアニストも多数輩出しています。	1,650,000	1,650,000	—
	株式会社神戸新聞社					
22	第19回TIS公募	2	イラストレーション作品のコンペティション。1995年より始まり今回で19回目である。新しい才能の発掘と次世代に続くイラストレーター育成を目指しており、現在活躍しているイラストレーターを多数輩出している。	1,200,100	1,200,100	—
	一般社団法人東京イラストレーターズ・ソサエティ					
23	動画で学ぶ はじめての読みきかせ	2	読みきかせの基礎が学べる動画を教材に自治体や書店・子育て支援団体などの協力を得て、読みきかせに興味のある子育て世代の主婦や学生、読み手に少ない男性なども募集。動画閲覧後、さらにスキルを磨きたい方のため、全国2会場程度で実践経験が出来る講習会を開催。併せて全面協力が可能な自治体があれば自治体主導の「リアル講習会」の開催を呼びかけ、成果を実際の自治体に活かせるようにしていく。	5,176,000	5,176,000	—
	一般財団法人出版文化産業振興財団					
24	本との新しい出会い、はじまる。BOOK MEETS NEXT2024	2	「BOOK MEETS NEXT」は年間を通して、定期的に全国規模の店頭企画を計画し、集客や新たな読者の育成を目指す。「秋の読書推進月間」では「神田神保町」を中心に、周辺の大学や企業などを巻き込み、最大全国5会場と連携して全国規模のブックイベントにする。同時期には今までのノウハウを活かし、店頭の盛り上がりも仕掛けるなどリアル会場と書店店頭、Webでのキャンペーンなどを同時に行い、より広い層へのアプローチを図る。	44,223,000	44,223,000	—
	一般財団法人出版文化産業振興財団					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
25	映画の新しい才能の発見と育成のための映画製作事業 「PFFスカラシップ」	2	自主映画の映画祭「びあフィルムフェスティバル(PFF)」で入選した監督から1名を選出し、長編劇場映画を製作するトータル・プロデュース事業の第30回。新人監督の映画製作から劇場公開に至る過程を通して、新たな監督、脚本家、音楽家、俳優等の人材育成に寄与する。	25,000,000	1,000,000	24,000,000
	一般社団法人PFF					
26	全国選抜小学生プログラミング大会（47都道府県大会および全国大会）	2	小学生向けのプログラミング大会の実施運営。 47都道府県で地方大会を実施し、各大会で優秀な成績を収めた者を各都道府県の代表者として全国大会へ推薦する。全国大会は3月に東京都内でリアル開催し、各都道府県代表がプレゼンテーションで競い合う。大会前日には出場者向けにプログラミング関連のイベントも実施する。	50,000,000	50,000,000	—
	株式会社共同通信社					
27	2024年度「小学生がえらぶ！“こどもの本”総選挙」子供向け読書推進セミナー	2	のべ60万人以上の小学生が参加している「こどもの本総選挙」を通じ、子どもたちの読書推進を行う。「子どもたちが自ら読みたい本を選ぶ」という読書推進の在り方を世の中に広めていくため、本年は主に学校への普及および啓蒙活動として、学校の教員や司書向けのセミナーを実施する予定である。	4,000,000	4,000,000	—
	特定非営利活動法人こどもの本総選挙事務局					
28	「新しい子どもの歌」プロジェクト	2	当会の活動の中心である「新しい子どもの歌プロジェクト」は、作詞コンクール、コンサート、楽譜出版、作詞作曲コンテスト、歌唱コンテスト、YouTube配信から成る事業であり、幼児・児童・生徒を対象とした「子どもらしい歌・子どもが喜んで歌える歌」の創作・普及、ならびに、子どもたちが「新しい子どもの歌」に触れて言葉と音楽の素晴らしさや面白さを学ぶ機会を提供することを目的としている。	1,232,000	1,232,000	—
	一般社団法人全日本児童音楽協会					
29	第17回書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会）	2	高校書道部による書道パフォーマンスの日本一を決定する大会。書道パフォーマンスは、1チーム12人以内の選手が音楽に合わせて縦4m×横6mの紙に制限時間6分間でダンスなどの趣向を凝らしたパフォーマンスと共に、自分達の伝えたい思いを詩に込め、様々な書体を使って作品を作り、書や演技の美しさなどを競い合う。優勝校には文部科学大臣賞を授与する。	10,000,000	10,000,000	—
	書道パフォーマンス甲子園実行委員会					
30	教育現場でのサステナブルでユニバーサルな著作権教育支援	1	これまでの開発教材（教員用冊子・学生用動画）を用い、教育現場における著作権教育の推進をより広く行う。 1）著作権法の改正状況を把握し、教材の点検・維持管理を行う。 2）初等中等教育段階の教員を含めた教育担当者に対する著作権教育支援（出前講習会の実施、教員用冊子を用いた自律学習・研修支援、著作権知識の実態調査）を推進する。 3）留学生に向け動画の英語化（字幕等の文字情報付与）と英語日本語切り替えウェブサイトの構築を行う。	12,432,400	12,432,400	—
	一般社団法人大学ICT推進協議会					
31	日本国際著作権法学会（ALAI Japan）学会誌出版事業	1	本事業は、日本国際著作権法学会（ALAI Japan）の学会誌「国際著作権法研究」を、2024年度内および2025年度内に1冊ずつ出版し、これを権利管理団体等の関係団体や大学等教育機関の図書館等（約100団体程度）に寄贈するものであり、「著作権保護の法原則の擁護および普及」のために行われる諸活動の成果として、「著作権保護の法原則」を広く社会に普及させることを目的とする。	4,610,000	2,305,000	2,305,000
	日本国際著作権法学会（ALAI Japan）					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
32	日本音楽を紹介する番組コンテンツ制作事業	2	海外における日本音楽の普及・認知向上を目指し、国内外で活躍する日本人アーティストや音楽を紹介する番組（毎週土曜日21:00からインターFMで放送中）を制作し発信する事業である。収録した音声はインターFMで放送し、収録時の映像と音声はオンラインで配信する	20,000,000	20,000,000	-
	一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団					
33	第21回東京国際ミュージック・マーケット (Tokyo International Music Market) ライブコンサート事業	2	東京国際ミュージック・マーケット (TIMM) は、日本音楽の海外展開・国際交流イベントで、ライブコンサートはアーティストがパフォーマンスを行うことにより音楽作品を披露する場である。毎年秋のTIMM期間中は3日間で合計10～15組が出演を予定するが、期間外でも規模を縮小したミニコンサート（毎月1回1～2組）を定期的実施し、その模様をオンラインで配信する	16,000,000	16,000,000	-
	一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団					
34	コンテンツメーカーと協働した著作権の普及啓発事業	1、2	中学生高校生を対象とした体験型ワークショップを開催する。ゲーム会社の制作スタジオを見学し、ゲームソフトの制作がどのように行われているか体験する機会を提供する。ゲームソフト等のコンテンツが著作権で守られていることを伝え、あわせて著作権に関する知識を提供する。中高生にとって関心の高いゲームソフトを通して、創作への敬意や意欲、ならびに著作権に対する理解を促進することを目的とする。	2,289,000	2,289,000	-
	一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会					
35	展覧会「文豪×文庫 夏目漱石・林芙美子・萩原朔太郎 一名作の装丁 新しい100冊」	2	明治～昭和期の文豪・詩人に焦点を当て、現代の装丁家・装画家がその作品（文庫本）に新たな装丁を施し、書籍の持つ普遍性と発展性の模索を通じて創作の振興と普及に努める。 ・夏目漱石『こころ』、林芙美子『放浪記』、萩原朔太郎『猫町』の初版本展示 ・上記書籍の文庫版への現代の装丁家・装画家による新たなカバーの制作と展示等	2,510,000	2,510,000	-
	一般社団法人日本図書設計家協会					
36	写真家の録音記録「声のライブラリー」のデジタルアーカイブの構築と公開	2	1970年代から1990年代にかけて写真家の肉声と映像を記録した「声のライブラリー」の録音データシリーズを保管しているが、これは主に磁気媒体（録音テープ等）を使用して記録されたもので、近年の経年劣化が著しく、改めてデジタル化する作業が必要である。これらの記録が失われることは、日本の写真文化を後世に遺す上での大きな損失となるため、早急な対策が必要となっている	3,000,000	3,000,000	-
	公益社団法人日本写真家協会					
37	第62回有島青少年文芸賞	2	北海道と関係の深い作家・有島武郎の業績をたたえ、1963年に創設。中学生・高校生とこれに準じる年齢の方を対象に小説・詩・評論・随想・シナリオ・戯曲・その他のオリジナル作品を募集。最優秀賞ほか最優秀賞1編、優秀賞3編、佳作約10編を選出する。最優秀賞作品は北海道新聞デジタルに全文を掲載し、入賞全作品を収めた作品集も販売する。	890,000	890,000	-
	株式会社北海道新聞社					
38	「APA著作権ハンドブックII」	1	2019年にまとめた「著作権ハンドブック」を現代に必要な内容に更新して発行する。一般社団法人日本写真著作権協会、弊協会の顧問弁護士を務めていただいている野間子弁護士の監修で、広告写真家が仕事をしていく際に必要となる著作権の知識をわかりやすくまとめている。弊協会が小中学生を対象に行っている『図工・美術授業にカメラ』の授業においてもこのハンドブックを参考に担当の先生や子供たちに著作権の存在、自分の権利を守り他人の権利も守るルールがある事をわかりやすく伝えていきたい。	2,000,000	2,000,000	-
	公益社団法人日本広告写真家協会					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
39	知的財産教育活動普及・定着事業	1	本事業では、大学関係者、企業関係者、弁護士、弁理士、国家公務員等、誰でも参加可能なオンラインセミナーを継続的に開催するとともに、講師を招聘し、対面形式によるセミナー等も開催する。併せて、教育機関等への本学教員の派遣、有識者による知財教育高度化のための勉強会等、著作権及び著作隣接権をはじめとする知的財産教育の普及・定着活動を行う。	1,800,000	1,800,000	—
	国立大学法人山口大学					
40	第69回こども県展（令和6年度千葉県児童生徒美術展覧会）	2	絵画やデザインなどの表現は、人間の成長にとって欠くことのできないものであり、人間形成の基礎・基本となるものであるといわれる。 こども県展は、次代を担うこどもたちの豊かな心と、個性や創造性を育むことを目的として開催してきた。千葉県教育委員会をはじめ関係各団体の後援により、長い歴史と伝統がある。さらに内容の充実に努め、美術教育の振興発展に寄与することを目的としている。	4,200,000	4,200,000	—
	株式会社千葉日报社					
41	第8回日本子どもの本研究会作品賞選考及び受賞者への贈呈式	2	第8回作品賞は、前年に国内で発行された児童書の中からジャンルやグレードに関わりなく優れた作品を選び、作者だけでなく制作に携わった方々を広く顕彰し、もって児童図書のより一層の発展と、子どもたちの読書がより豊かになることを願うものである。	360,000	360,000	—
	一般社団法人日本子どもの本研究会					
42	Tokyo Docs 2024	2	Tokyo Docsは日本のドキュメンタリー製作者が国際展開を目指す作品や番組企画を、参加する欧米やアジアの有力な放送局、動画配信会社、配給会社、製作会社のプロデューサーに直接ピッチング（企画提案）する場である。そのピッチング登壇に向けて、7月～10月まで海外ドキュメンタリストを講師として、人材育成トレーニングを実施する予定。	10,000,000	10,000,000	—
	特定非営利活動法人 Tokyo Docs					
43	視覚障害者等の人々も読める電子書籍の出版に向けた、EPUBコンテンツのアクセシブル化に関する研究	1	アクセシビリティと著作権保護を両立させたインクルーシブな電子出版は、著作権者に、視覚障害者等、読書にニーズがある人々を含む広範な読者獲得の機会をもたらす。本事業では、出版社が発行するEPUB形式の電子書籍のアクセシブル化に必要なツール類の、改良、日本語翻訳、公式サイトでの公開を行い、EPUBアクセシブル化マニュアルを作成する。併せて、読書バリアフリーとインクルーシブ出版に関するシンポジウムも開催する。	15,193,137	15,193,137	—
	社会福祉法人日本ライthouse					
44	DX時代に対応した「新裁定制度」に係る課題に関する調査研究	1	令和5年著作権法改正により創設された未管理公表著作物の利用に関する裁定制度は、著作物等の利用には権利者の許諾を要するという原則を転換する側面を持つことから、利用者と権利者の双方に大きな影響を与える可能性があるものの、制度の詳細は必ずしも明らかになっていない。 本事業においては、同改正法の施行に先立ち、制度の内実を調査研究することにより、その円滑な導入や予測可能性を高めようとするものである。	2,760,000	2,760,000	—
	公益社団法人著作権情報センター					
45	子どもの読書活動推進事業	2	本事業では、読みきかせなどを通じて子どもの読書活動推進に取り組んでいる大人を対象としたスキルアップセミナーを開催し、子どもと読書の接点で活躍する人々の育成や拡大を目指します。また、子どもたちやその保護者を対象に、本の楽しさを伝えるイベントを開催し、子どもたちの読書習慣の育成を目指します。これらのセミナーやイベントの告知、読書の魅力や読書活動の推進に役立つ情報発信、ネットワークづくりのためのウェブページも作成し、事業成果の幅広い普及・浸透を図ります。	9,210,020	9,210,020	—
	公益財団法人文字・活字文化推進機構					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
46	日本行政書士会連合会著作権相談員のデータベース構築及び著作権相談員による著作権教育の実践に特化したセミナー等の実施による著作権制度普及啓発事業	1	一般公開している現行著作権相談員名簿の記載項目に、著作権に関する研修歴、著作権教育に関する指導助言歴等の情報を加えてデータベース構築し、著作権に関して市民が抱える課題に対応することのできる著作権相談員を選びやすくする。 加えて、学習指導要領に基づく著作物等の利用についての具体的な事例や著作物等の利用に関する際の「引用」等の考え方の普及啓発のためのセミナー等を企画実施し、もって著作権制度の利用促進に資する。	4,528,000	1,816,000	2,712,000
	日本行政書士会連合会					
47	第30回宮日音楽コンクール	2	小学生から一般を対象とし、優れた演奏家を発掘・育成するとともに、音楽文化の振興に寄与することを目的としている。 ピアノ、声楽、弦楽器、管楽器、打楽器の5部門で、審査員には毎年、国内外で活躍する音楽家を招聘している。県外からも出場者が多く、入賞者の一部は国内外の著名な演奏家が行う育成プログラム「ミュージックアカデミーin-宮崎」に参加できる特典もある(2023、2024年度は中止)。	350,000	350,000	-
	株式会社宮崎日日新聞社					
48	教育著作権エヴァンジェリスト育成事業	1	本事業は、2年計画で、初等中等教育機関において、著作権に関する疑問や課題に対する第一次対応(スクリーニング)ができ、かつ、初等中等教育の教職員に対して著作権の普及啓発、及び、著作権教育に関する研修を主導的に実施できる「教育著作権エヴァンジェリスト」を、各都道府県、及び、各政令指定都市の教育委員会、私立学校協会に最低でも1名以上育成することを目的として実施する事業である。	11,888,000	5,074,000	6,814,000
	一般社団法人ICT CONNECT 21					
49	山形ドキュメンタリー道場7	1、2	日本とアジアの新進ドキュメンタリー映画作家たちが、製作中の自作をたずさえて雪深い山形県の湯治場に一月滞在する、人材育成プログラムの7回目。地域住民や講師と交流を交えつつ、切磋琢磨しながら作品づくりを見つめなおす創作を支援する。また、地元の古い映画を新たにデジタルサイズして国際映画祭で上映し、地域の記憶を継ぐ著作物の価値について考える機会を創出する。	3,018,000	3,018,000	-
	ドキュメンタリー・ドリームセンター					
合 計 (1次募集分 49事業)				407,348,094	348,230,564	59,117,530

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
50	第33回国際高校生選抜書展（書の甲子園）	2	1993年から毎年開催している国内外の高校生を対象にした公募書道展で、「書の甲子園」の愛称で知られる。第32回展では国内外から約1万600点の作品応募があった。9月に作品を受け付け、10月に審査、翌年2月に表彰と展示を行う。団体賞の地区優勝校（10校）は春のセンバツ高校野球の入場プラカードを揮毫する。	7,000,000	7,000,000	—
	一般財団法人毎日書道会					
51	第92回全国盲学校弁論大会全国大会	2	盲学校生徒を対象に1928年から続く弁論コンクールで、今年度は第92回大会となる。視覚に障害のある学生に自らの考えを言葉にまとめ相手に伝わる喜びを体験してもらおうとともに、その思いを社会に伝え障害者理解につなげるのが大会の狙い。大きな節目となる「第100回大会」まで歴史を刻めるよう、学校現場の実情をふまえると共に、大会成果の伝え方などに工夫を重ねながら持続可能性を探っていく。	2,000,000	2,000,000	—
	株式会社毎日新聞社					
52	第13回しまね小中学生新聞コンクール	2	島根県内の小中学生対象。テーマを決めて自分だけの新聞を作るコンクール。自分の足で集めた情報を記事にして、専用紙にイラストや写真などにもレイアウトする。審査員は学校の教員や新聞記者が務め、各学年の最優秀、優秀、優良、入賞、佳作、団体賞に当たる学校賞を決める。優秀な作品は新聞紙面、コンクールホームページ、協賛社イオンの松江、出雲、益田各店での作品展で公開する。	1,200,000	1,200,000	—
	株式会社山陰中央新報社					
53	紙芝居アカデミー 2024夏期講座	2	本講座は、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、図書館関係者などを主な対象として、日本独自の出版物である紙芝居の魅力を伝え、保育・教育の現場で活用を促すことを目的としている。これまでは東京で開催してきたが、要望に応え始めて大阪での実施となる。著者・研究者・編集者の講義と実演を通じて、絵本と紙芝居の違いなどを理解していただき、より現場で力を発揮することが可能となる。	300,000	300,000	—
	株式会社童心社					
54	学生目線で制作する若年層向け著作権啓発MV	1	学生たちの感性と柔軟な発想により、若年層に響く著作権啓発MV（ミュージックビデオ）を考案し、全国の教育現場等で活用可能なクオリティで制作・公開することで、これからのデジタル社会を担う世代の著作権に対する理解の促進、倫理観の醸成を図る。学生グループが若年層への啓発を目的として制作した「著作権のうた」のカバーMVを制作し、若年層をターゲットとしたデジタル展開を行う。	2,157,000	2,157,000	—
	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学					
55	図書館等公衆送信補償金制度に係る補償金收受システム構築事業	1	令和3年著作権法改正において新設された、特定図書館等が補償金負担のうえで図書館資料を公衆送信することを可能とする制度に関し、同補償金を受ける権利を行使する唯一の団体として指定されている当法人が、同補償金の收受を円滑かつ低コストで実施することができるシステムを構築する	18,722,000	18,722,000	—
	一般社団法人図書館等公衆送信補償金管理協会					
56	民放連「放送番組の違法配信撲滅キャンペーン」	1	インターネット上における放送番組の違法配信を抑止するためのキャンペーン。アニメーションの啓発スポット「違法だよ！あげるくん」を制作し、同スポットの放送および配信を通じて、インターネットユーザーに向けて、軽い気持ちで無断アップロードをすることがないように注意喚起を行う。あわせて無断アップロードされた動画を見ている人たちにも、違法性の認識を高めてもらうことを狙いとしている。	29,150,000	29,150,000	—
	一般社団法人日本民間放送連盟					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
57	第30回日本プロ音楽録音賞	2	本事業は音楽文化と産業の発展の一翼を担う録音エンジニアが制作し応募した音楽録音作品について、エンジニアが有する音楽に対する感性、技術力等を評価することにより、授賞対象優秀作品および最優秀作品並びにベストパフォーマー賞を選定し、これに携わり制作を担ったエンジニアおよびベストパフォーマーのアーティストを顕彰することでエンジニアの技術の向上と次世代エンジニアの発掘を図ることを目的とし、表彰を行うものである。	1,632,000	1,632,000	-
	一般社団法人 日本音楽スタジオ協会					
58	DANCE CLUB CHAMPIONSHIP vol.12	2	高校ダンス部の全国大会。2013年の第1回大会から始まり、今年で12年目となる。 ダンス技術のみではなく、「漢字2文字のテーマをいかにダンスで表現するか?」という審査基準で、技術力・表現力・独創性を総合的に審査する	10,000,000	10,000,000	-
	エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社					
59	第9回高校生ダンスバトル選手権	2	高校生・高校ダンス部員が出場できるダンスバトルの大会。DJがランダムに流す楽曲に合わせて即興で踊りあい勝敗を競う、バリ五輪でも採用されたダンスの形式で行われる。 1対1と3対3チーム戦の2種目があり、全国4地区で予選。最後に全国大会を行う。数多くのプロダンサーや後に世界一になるダンサーを輩出するなど、名実ともに日本一の高校生ダンスバトルを決める大会である。	2,200,000	2,200,000	-
	名古屋テレビネクスト株式会社					
60	第8回東奥文学賞	2	同文学賞は、青森県の日刊「東奥日報」創刊120周年を記念し2008(平成20)年に創設。隔年で開催し今回で8回目となる。地域読者の創作意欲を高め、小説執筆の機運醸成・振興・普及を目的とし、新たな才能の発掘・育成のため青森県在住者や県出身者から小説作品を募集し外部委員による選考を行っている。大賞受賞作品は書籍として出版。受賞者に著作物を生み出すことへの感動を味わう機会を提供する。	950,000	950,000	-
	株式会社 東奥日報社					
61	「JPCA写真著作権ハンドブック」	1	当会の著作権セミナー受講者、広報誌読者、制作に協力したNHK教育番組を視聴した方々から、当会に対して写真著作権のハンドブックを求める声が高まり、写真作品を創作する、鑑賞する側、そして写真作品を利用する側の双方に対して、著作権と著作権者人格権の大切さを伝えるため、写真家、コンテスト主催者、法律家などの現場のトピックを中心に構成し、親しみやすい内容のハンドブックの制作を行う。	2,582,800	2,582,800	-
	一般社団法人日本写真著作権協会					
62	第12回高校生直木賞	2	直近1年間の直木三十五賞の候補作品を全国の高校生たちで読み、討議を通じて評価し、さらに各校の代表者が一堂に会して議論を重ねて「高校生たちの今年の1作」を選出する。そのプロセスと並行して、各地域の書店で書籍を購入する機会を設けたり、高校生の「読解力」「語る力」「聞く力」を涵養するため実作者、編集者を講師に招いて読書会やトークイベントを複数回開催したりする。	2,894,000	1,544,000	1,350,000
	高校生直木賞実行委員会					
63	国内外の伝統音楽・芸能を記録したビデオ作品のデジタルファイル化および公開用データベース構築	2	1980~90年代に国内外の音楽・芸能を広く記録・収集して制作され、長く教育現場で使用されるとともに各種賞を受賞するなど社会的に評価を受けたビデオ作品を次世代に継承するため、旧式のメディアフォーマットで記録されたマスターテープをデジタルファイル化する。本事業が完成した後にインターネット等を利用して公開し、データの長期保存(データマイグレーション)を可能にすることを視野に入れて実施する。	3,260,000	3,260,000	-
	公益財団法人日本伝統文化振興財団					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
64	ブックサンタ2024	2	生活困窮などにより思い出格差（※1）を抱える子どもに愛された記憶を残すため、新品の本とともに「特別な体験」を届けている。また、寄付者にとっても、贈る本を自ら選べるといふ「楽しい寄付体験」の構築を目指している。2017年から実施し、昨年度は1,683書店と連携、3ヶ月間で合計128,898冊（総額2億円）の寄付が集まった。寄付本は全国約300の子ども支援団体を通じて対象の子どもたちに届け、本を通じた子どもの支援と著作物の振興を行っている。 （※1）思い出格差：その後何度も思い出せる記憶が得られる経験の差	5,000,000	5,000,000	—
	特定非営利活動法人チャリティーサンタ					
65	「著作物の教育利用に関する関係者フォーラム」運営事業	1	授業目的公衆送信補償金（以下、「補償金」という。）制度に関して検討が必要な事項について、情報交換や意見交換を通じて、それらに関する共通認識を形成し、著作権（著作隣接権を含む。以下同様）制度への理解を促進し、著作権の保護を図ることで、もって教育現場におけるICT活用教育の推進及び著作物等（著作権及び著作隣接権の対象となるものの総称をいう。）の利用促進に資することを目的とする。	15,317,000	5,869,000	9,448,000
	著作物の教育利用に関する関係者フォーラム					
66	著作権普及啓発事業	1	ユーザが著作物を利活用するに当たり法の趣旨に則り適切な利用形態になるよう、現行著作権法で理解が難しい点を分かりやすく解説し、特に若者のコミュニケーションツールに合う形で動画とランディングページのテキストで提供する。	2,800,000	2,800,000	—
	一般社団法人法経書出版協会					
67	第12回ATP上方番組大賞	2	関西地域のコンテンツ発展と人材育成を目的に、2013年に創設された。関西で制作・放送される優れた番組やコーナー、または若手クリエイターに対して表彰を行う。本事業により、製作者や作者のモチベーションが高まり、関西から全国が注目する映像コンテンツが生み出されることを目指す。また、著作物の創作の振興及び普及、著作権保有意識の向上にも寄与する。	1,000,000	1,000,000	—
	一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟					
68	第54回京都新聞「お話を絵にする」コンクール	1	京都・滋賀の幼稚・保育・こども園児、小学生を対象に「お話（書籍）」の読後感を「絵にする」コンクール。自由な発想と柔軟な感性を育み、豊かに表現する力をつけてもらうことが目的。昨年度は770校・園から128,665点の応募があり、京都市内の小学校では授業に組み込まれるなど地域の教育現場に浸透した取り組みとなっている。「著作権」について親和性があり、学べる機会と言える。入賞作品展会場やWEBでの著作権啓発の取組も行う。	1,600,000	1,600,000	—
	株式会社京都新聞ホールディングス					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
69	「児童出版美術と著作権」啓発のための動画製作とネット配信	1	「児童書の著作権の歩み」動画制作 1964年日本児童出版美術家連盟の設立以来、画家の著作権擁護のための活動を行なってきた。その結果、画家の著作権について、社会での理解が深まり認められるようになったが、まだ十分とは言えない。AIが普及する今こそ、著作権擁護の必要性を社会に広く理解を求め、日本で著作権がどのようなプロセスによって認められてきたのか、歴史を動画としてまとめ、一般公開し、著作権が護られるべき決まりであることを広く啓蒙する。	2,416,850	2,416,850	-
	一般社団法人日本児童出版美術家連盟		「児童出版美術家のための著作権の基礎知識」動画制作 印刷美術を職能とする画家は、ほとんどが企業から仕事を受注する個人事業主であるが、自分たちが持っている著作権についての知識が不足しているために、不平等な契約を締結してしまうことがある。これを未然に防ぐ目的で、著作権とは何か、画家にはどんな権利が認められているのかを、分かりやすく解説する動画を制作し、企業と権利者との共通理解が進むことを目論む。			
70	「科学技術映像祭」の公募大幅改定による同映像著作物の創作の振興及び普及	2	「科学技術映像祭」は、65回を数える歴史を持ち、科学技術に関する優れた映像著作物に内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞等を授与する、日本で最も権威がある科学技術に関する映像祭である。近年の情報・通信技術の大きな変化に対応すべく、若い世代を対象とする部門を新設する等、公募の大幅改定を行う予定である。このため特に若い世代から多数の応募を得るべく、創作の魅力や、著作権等制作にあたってのルールについて広く発信する。	4,161,554	4,161,554	-
	公益財団法人日本科学技術振興財団					
71	第16回座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	2	映画やテレビなどの枠に囚われることなくドキュメンタリーを上映し、その魅力を広く一般に認知させることが目的である。ドキュメンタリー作品を通じて、現在の社会について考えることができる。またコンペティション部門を開催することで、作り手たちの成長をサポートする目的も持つ。監督やカメラマンなど作り手たちが運営スタッフを担っていることも大きな特徴で、作り手のドキュメンタリーの魅力を変えたいという思いの詰まった映画祭である。	2,640,000	2,640,000	-
	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会					
72	第82回全国舞踊コンクール	2	1939年に始まり、バレエ、現代舞踊、邦舞、児童舞踊、群舞、創作舞踊の全6部門年齢別13部に全国から約800組、1200人が参加する国内最高レベルで、最も歴史があるダンスコンペティション。著名な舞踊家やコレオグラファーを数多く輩出しており、「舞踊の著作物」の表現者・創作者の育成、舞踊芸術の発展に貢献している。上位入賞者の演技ダイジェストやインタビューを公式ホームページ、動画配信サイトなどで紹介し、上位入賞者によるアンコール公演も実施する。	5,630,000	2,700,000	2,930,000
	株式会社中日新聞社東京本社					
73	レコード創作の芸術性と魅力を発信するトークショーイベントの開催	2	クラシック音楽におけるレコード創作活動において、一般的にはその中心と目されるアーティストだけでなく、サウンドエンジニアや録音技術にも焦点を当て、レコード創作過程の全体像とその魅力を発信していくトークショー形式のイベントを開催する。一般的な音楽ファンが知る機会が少ないレコード創作過程における、アーティストやエンジニアの音作りへのこだわりや情熱に焦点を当て、その魅力を広く発信する。	2,270,000	2,270,000	-
	株式会社MAE					

2024年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2024年度分 助成額 (円)	2025年度分 助成額 (円)
74	日本コンテンツの海外展開最大の障害「海外の海賊版」実態に関する調査	1	日本コンテンツの海外展開が急伸する中、海外向けの海賊版サイト対策は急務である。しかし海外では正規の翻訳版が潤沢に流通していないなど日本の読者と置かれている状況が大きく違う。そこで正確に海外のマンガファンに日本マンガとの接し方、海賊版利用の実態そして正規版の課題等を聴取・データ化し、海外に向けての「STOP! 海賊版キャンペーン」の施策立案や正規版展開促進の重要な資料とすることを目的とする。	19,000,000	19,000,000	-
	一般社団法人ABJ					
75	「日本語に通じない児童生徒」へのデジタル教科書の利用促進プロジェクト	2	教科書バリアフリー法が2024年6月に一部改正され、日本語に通じない児童生徒にもデジタル教科書を提供できるようになる。言語の壁のために学習から取り残されていた児童生徒がデジタル教科書を利用して学校の授業に参加しやすくなり日本語の読解力が向上すれば、日本語の著作物の普及にもつながるため、有識者による会議と、オンラインワークショップを中心とした普及事業を行う。年度末にその成果をとりまとめた事業報告会を実施する。	8,506,501	8,506,501	-
	特定非営利活動法人支援技術開発機構					
合 計 (2次募集分 26事業)				154,389,705	140,661,705	13,728,000

2024年度助成事業 (1次募集) 助成総額 407,348,094 円 (内 2024年度分 348,230,564 円、2025年度分 59,117,530 円)

2024年度助成事業 (2次募集) 助成総額 154,389,705 円 (内 2024年度分 140,661,705 円、2025年度分 13,728,000 円)

2024年度助成事業 助成総額合計 561,737,799 円 (内 2024年度分 488,892,269 円、2025年度分 72,845,530 円)